

# 令和6年度 入学者選抜要項

島根県立大学

島根県立大学短期大学部

別科助産学専攻

この入学者選抜要項は、令和5年6月末現在の状況で作成したものです。  
これ以降の情報については、本学公式ホームページ及び学生募集要項で  
ご確認ください。

## 地域政策学部地域政策学科のアドミッション・ポリシー

### 教育内容・特色

島根県立大学地域政策学部地域政策学科は、地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材を育成することを目的としています。

### 求める人材

求める学生像は次のとおりです。

#### 1. 知識・技能

- (1)社会科学系の学問を学ぶ上で必要となる読解力やものの見方を身につけている人
- (2)大学における学修に必要な幅広い基礎学力や教養を身につけている人

#### 2. 思考力・判断力・表現力

- (1)多角的な視点に立って物事をとらえ、柔軟な発想ができる人
- (2)自身の考えを明確に表現することができる人

#### 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

地域の諸課題について広く関心をもつとともに、課題の解決に取り組む意欲があり、主体的に学修に取り組むことができる人

## 地域経済経営コースのアドミッション・ポリシー

### 教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科地域経済経営コースでは、「経済学や経営学に関する実践に裏打ちされた知識や能力をもって、地域経済や企業の発展に貢献できる人材」を育成することを目指しています。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 地域の様々な主体との連携に基づくフィールドワーク等を通じて、地域や企業等の価値や問題を発見する力
2. 地域や企業等が抱える問題について、専門的知識やものの見方を用いて解決策を構想する力
3. 自分の考えをわかりやすく提示し、他者に論理的に説明する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 経済学や経営学の根幹となるような基礎的・専門的な知識を確実に身につけられるように、「専門基礎科目群」及び「専門科目群」に「コア領域科目」を配置し、基礎から応用・発展へと着実に専門性を高めていきます。

2. 経済学や経営学の専門的な知識科目に加え、「関連領域科目」として、法、政治・行政、社会学などの科目を幅広く配置することで、多角的な視点を養い、学修の効果を一層高めます。
3. 演習科目では、行政や支援機関、企業とも連携しPBL（問題解決型学習）やフィールドワークを取り入れます。
4. 卒業研究では、PBL（問題解決型学習）やフィールドワーク、独自の統計分析等を行い、地域にとって、あるいは、学術的に有意義なものを目指します。

## 求める人材

### 1. 知識・技能

- (1) 経済学や経営学を中心とした社会科学を学修するために必要となる基礎学力、読解力及びものの見方を身につけている人

### 2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 目的をしっかりと見据え、自ら進んで考えることができる人
- (2) 自身の考えを明確に表現することができる人

### 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1) 鳥根県やその他の地域の地域経済や企業等が抱える問題について関心をもち、経済学や経営学の知識や方法を用いてその問題解決に取り組みたいという意欲をもった人
- (2) 多様な人々と協働しながら学修を進めるために必要な協調性がある人

## 高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 自身が関心をもつことがらに関して信頼できる情報を収集し、文章や図表、統計資料等を利用して考察する力
3. 他者の話を的確に聞き取る傾聴力と自分の考えを口頭や文章で表現する力
4. 地域経済や企業についての高い関心
5. 自身が関心をもつことがらについて主体的に探求していく力
6. 他者と協働しながらひとつのことを成し遂げる力

## 選抜の基本方針

### 1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査（調査書及び活動報告書）により「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

### 2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科から最も高い点数の1教科の得

点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

### 3. 学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、総合問題及び面接の評価を総合して行います。総合問題では、課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める記述・論述式の問題を出題します。これにより、本コースにおいて経済学や経営学を中心とした社会科学を学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身につけているかどうかを評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

### 4. 総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、総合問題及び面接の評価を総合して行います。総合問題では、課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める記述・論述式の問題を出題します。これにより、本コースにおいて経済学や経営学を中心とした社会科学を学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身につけているかどうかを判定評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

## 各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接	○	○	◎
学校推薦型 選抜	一般推薦	総合問題	○	◎	○
		面接	○	○	◎
総合型選抜	自己推薦	総合問題	○	◎	
		面接	○	○	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P63（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

## 地域公共コースのアドミッション・ポリシー

### 教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科地域公共コースでは、生活圏である地域の持続と発展、そして人々の共生のために、多様性を尊重しつつ、公共的見地から多様な知識を融合させて、協働と自律の理念のもとに、課題の解決策を立案できる人材を育成します。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 法、政治・行政、社会の各領域を支えている根本原理について理解し、俯瞰して政治・社会的事象を考察する力
2. 多様な人々が共生する地域社会の自律した個人として、多様性を尊重しつつ、自らの意見や考えを公共的な見地から発信する力
3. 多様な知識を融合させ、地域社会の様々なステークホルダーと協働しながら、人々の共生に向けて、課題の解決策を立案する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 「専門基礎科目群」及び「専門科目群」の「コア領域科目」の履修を通じて、法、政治・行政、社会の領域に加えて、公共政策に関わる専門的な知識を修得し、俯瞰して政治・社会的事象を考察する力を身につけます。
2. 「専門基礎科目群」及び「専門科目群」の「関連領域科目」の履修を通じて、政策、環境、経済、経営等の幅広い知識を修得し、公共的な課題の解決策を「政策」という形で構想する力を培います。
3. 演習科目では、少人数教育を通じて、多様な知識を融合させ、地域社会の様々なステークホルダーと協働しながら、人々の共生に向けて、課題の解決策を立案する力を培います。

## 求める人材

### 1. 知識・技能

- (1) 公共的な課題について考察するために必要な基礎知識と文章の読解力を身につけている人
- (2) 自分自身の主張を口頭で分かりやすく伝達する適切な日本語の運用能力を身につけている人

### 2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 広く人々が関心を持つ公共的な観点から、地域の多様な課題について考察し、議論することができる人
- (2) 多様な人々の考えや主張を傾聴したうえで、幅広い視点から柔軟に思考することができる人
- (3) 自分自身の考えや主張を明確に表現することができる人

### 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1) 自ら課題を発見し、他者と協働してその課題を解決しようとする姿勢を身につけている人
- (2) 広く人々が関心を持つ公共的な見地から、自分自身の知見を広げ、善き社会の実現に向けてその知見を活かそうとする意欲を持つ人

## 高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 日本語の文章の読解力と適切に日本語を運用する力
3. 他者の話を的確に聞き取る傾聴力と自分の考えを分かりやすく伝える力
4. 幅広い視野から公共的な課題を考察しようとする意欲
5. 地域の多様な課題に対して、公共的な観点から考察・議論することへの関心
6. 多様な学問領域への関心と多様な知識を融合して、課題を発見し、解決しようとする意欲

## 選抜の基本方針

### 1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査（調査書及び活動報告書）により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

### 2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

### 3. 学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、英語から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

## 各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接		○	○
学校推薦型 選抜	一般推薦	共通テスト	◎	○	
		面接		○	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P63（鳥根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

# 地域づくりコースのアドミッション・ポリシー

## 教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科地域づくりコースでは、地域の人々と密接なコミュニケーションをとりながら、地域の見落とされている価値や資源を発掘し、地域が直面する課題に自分独自の解答を見出すことができる「地域で生きる自立型人材」を育成します。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 地域が保有する資源や価値を様々な角度から分析し、的確に評価する力
2. 地域が保有する資源を再検討し、新たな価値を見出すとともに、地域と協働して課題解決に取り組む実践的な力
3. 取組みの成果をわかりやすく提示し、地域に還元する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 1年次から実践型の授業科目（アクティブ・ラーニング）を配置し、地域の特徴と課題を把握できるスキルをみがきます。
2. 地域住民をはじめとした地域の様々な関係者とのコミュニケーションを通して、地域づくりに必要な構想力を養いながら、プロジェクトを実際に企画・立案・実行し評価できる能力を養います。
3. 地域との協力・協働による実践的な活動を通して、多様な視点から地域社会を分析し、課題解決に向けたアイデアを具体化できる能力を身につけます。

## 求める人材

### 1. 知識・技能

- (1)他者と議論して考え方をまとめたり、成果物を作成するために必要となる基礎学力や教養を身につけている人

### 2. 思考力・判断力・表現力

- (1)自身の考え方や主張を、論理的に説明することができる人
- (2)複雑な事案に向き合い、その原因と結果を探求し、わかりやすく表現できる人

### 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1)地域社会の課題解決に向け、主体的かつ積極的に他者と協働する姿勢をもつ人
- (2)地域社会の新しい担い手となる意欲を持ち、それに向けて努力を惜しまない人

## 高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 自分のオリジナリティを大切にし、自分自身で考える力
3. 自分の考えを分かりやすくまとめ、他者に伝える力
4. 地域が抱える問題に関心を持ち、主体的に探求しようとする姿勢
5. 前向きなチャレンジ精神と強い学修意欲

## 選抜の基本方針

### 1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査（調査書及び活動報告書）により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

### 2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

### 3. 学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）

合格者の決定は、プレゼンテーション及び面接の評価を総合して行います。島根に愛情を持ち、支えていこうという思いと夢のある人を、高校と大学が共に育てます。プレゼンテーションと面接によって、本コースで学ぶにあたって必要となる基礎的な知識、「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

### 4. 総合型選抜（自己推薦（リーダーシップ入試））

合格者の決定は、プレゼンテーション、小論文及び面接の評価を総合して行います。高校在学中に、生徒会活動や部活動などの学校内の諸活動、または、NPOや高校生起業家などの学外活動において、リーダー又は副リーダーとして継続的に集団をまとめ、活動を牽引した経験がある人を対象としています。プレゼンテーションと面接により、本コースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。また、小論文によって基礎学力を評価します。

## 各選抜方法において重視する力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接		○	◎
学校推薦型 選抜	しまね高大 連携推薦	プレゼンテーション	○	◎	◎
		面接		○	◎
総合型選抜	自己推薦 (リーダー シップ入試)	プレゼンテーション	○	◎	◎
		小論文	◎	○	
		面接		○	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、別紙（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

# I 募集人員

コース	募集人員計	募集人員				
		一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜
		前期日程	後期日程	一般推薦	しまね高大連携推薦	自己推薦
地域経済経営コース	45名	20名	5名	10名	-	10名
地域公共コース	45名	25名	10名	10名	-	-
地域づくりコース	50名	15名	5名	-	20名	10名

# II 入学者選抜試験実施内容

## 1 一般選抜（前期日程・後期日程）

### 1. 募集人員

地域経済経営コース	前期日程	20名
	後期日程	5名
		計25名
地域公共コース	前期日程	25名
	後期日程	10名
		計35名
地域づくりコース	前期日程	15名
	後期日程	5名
		計20名

### 2. 出願資格

本学に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和6年度大学入学共通テストで本学の指定する教科・科目を受験している者とします。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定による出願については、事前に入学資格の審査を行いますので、次の区分により、入学資格認定申請書を提出してください。

- ① 大学入学共通テストの出願受付前に入学資格認定書の交付を受けようとする場合  
令和5年8月25日（金）まで（締切日必着）
- ② ①以外の場合  
令和6年1月12日（金）まで（締切日必着）

### 3. 選抜方法

#### 地域経済経営コース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、まず募集人員のうち15名程度を大学入学共通テストの成績により合否決定します。  
(1次選考)次に残りの合格者として想定する者の2倍程度を対象として、書類審査を加味した総合点により合否決定をします。(2次選考) ※詳細はP55を参照すること。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験(面接)の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験(面接)のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

#### (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考	
前期日程	国語	から 2科目	・100点満点に換算	
	地理歴史から1科目 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」)		4教科 4科目 (注1)	・3科目以上受験した場合は、 高得点の2科目を合否判定に利用(注2)
	公民から1科目(「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)			
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)			
	理科から1科目又は2科目 (「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、 「生物基礎」から2科目)			
	外国語(「英語」)	・100点満点に換算		
後期日程	国語	から 1科目	・100点満点に換算	
	地理歴史・公民から1科目(「世界史A」、 「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)		3教科 3科目 (注1)	・2科目以上受験した場合は、 最高得点の1科目を合否判定に利用(注2)
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)			
	理科から1科目又は2科目 (「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、 「生物基礎」から2科目)			
	外国語(「英語」)	・100点満点に換算		

(注1) 理科における「基礎」を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」)については、当該科目の2科目の受験で、1科目とみなします。

(注2) 各受験生の令和6年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の2科目、後期日程においては最高得点の1科目を本学が選択します。

なお、地理歴史及び公民並びに理科のうち理科②の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、次頁の扱いのとおりとします。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	○地理歴史から1科目及び公民から1科目の2科目を受験している場合、当該科目については第1、2解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。 ○上記以外 第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
	<理 科②>	第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科②>	第1解答科目のみを最高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)

## (2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	2次選考対象者のみ書類審査(調査書及び活動報告書)により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
後期日程	面接により、地域経済経営コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。参考資料として調査書を活用します。

## (3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

試験区分 教科等 選抜区分	大学入学共通テスト						個別試験	合計
	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語※		
前期日程 (1次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	-	400点
	配点 400点							
前期日程 (2次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	書類審査	420点
	配点 400点						配点 20点	
後期日程	100	[100]	[100]	[100]	[100]	100	面接	500点
	配点 300点						配点 200点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から2科目、[ ] は、1科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を100点満点に換算した点を用います。

## (4) 書類審査について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、高等学校が作成する書類(調査書)と、志願者本人が作成する書類(活動報告書)の両方によりアドミッション・ポリシーの観点から評価します。(調査書が存在しない者については、それに替わる証明書や記録等を提出していただきます。)活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセスを評価します。

なお、活動報告書の提出は任意であり、採点対象は2次選考対象者のみとします。(活動報告書の提出がない場合、2次選考における書類審査での加点は行いません。)

活動例を次頁に示します。

- ・「各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組」  
（例）地域課題発見、フィールドスタディ、教科・科目学習における努力等
- ・「部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等」  
（例）取り組み内容、大会の結果、役職履歴等
- ・「表彰・顕彰等の記録」  
（例）皆勤賞、感謝状、特待生等
- ・「取得資格・検定等」  
（例）英語民間試験、高等学校で学んだ専門分野に係る資格（簿記検定、数学検定）等
- ・「その他」  
アドミッション・ポリシーの観点から評価できるものであれば、活動内容は問いません。

P55「地域政策学部各コース共通」へ続く

## 地域公共コース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、まず募集人員のうち 20 名程度を大学入学共通テストの成績により合否決定します。  
(1 次選考) 次に残りの合格者として想定する者の 2 倍程度を対象として、書類審査を加味した総合点により合否決定をします。(2 次選考) ※詳細は P55 を参照すること。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験(面接)の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験(面接)のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

### (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和 6 年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考
前期日程	国語	から 2科目	・100点満点に換算
	地理歴史から1科目 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」)		・3科目以上受験した場合は、 高得点の2科目を合否判定に利用(注2)
	公民から1科目(「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)		
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)		
	理科から1科目又は2科目 (「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、 「生物基礎」から2科目)		
	外国語(「英語」)	・100点満点に換算	
後期日程	国語	から 1科目	・100点満点に換算
	地理歴史・公民から1科目(「世界史A」、 「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)		・2科目以上受験した場合は、 最高得点の1科目を合否判定に利用(注2)
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)		
	理科から1科目又は2科目(「物理」、「化学」、 「地学」、「生物」から1科目、又は「物理基礎」、 「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」 から2科目)		
	外国語(「英語」)	・100点満点に換算	

(注1) 理科における「基礎」を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」)については、当該科目の2科目の受験で、1科目とみなします。

(注2) 各受験生の令和6年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の2科目、後期日程においては最高得点の1科目を本学が選択します。

なお、地理歴史及び公民並びに理科のうち理科②の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、下記の抜いのおりとなります。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	○地理歴史から1科目及び公民から1科目の2科目を受験している場合、当該科目については第1、2解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。 ○上記以外 第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
	<理 科②>	第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科②>	第1解答科目のみを最高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)

## (2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	2次選考対象者のみ書類審査(調査書及び活動報告書)により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
後期日程	面接試験により、地域公共コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書を活用します。

## (3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

選抜区分	大学入学共通テスト						個別試験	合計	
	試験区分 教科等	国語	地理 歴史	公民	数学	理科			外国語 ※
前期日程 (1次選考)		100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	-	400点
		配点 400点							
前期日程 (2次選考)		100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	書類審査	420点
		配点 400点						配点 20点	
後期日程		100	[100]	[100]	[100]	[100]	100	面接	400点
		配点 300点						配点 100点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から2科目、[ ] は、1科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を100点満点に換算した点を用います。

## (4) 書類審査について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、高等学校が作成する書類(調査書)と、志願者本人が作成する書類(活動報告書)の両方によりアドミッション・ポリシーの観点から評価します。(調査書が存在しない者については、それに替わる証明書や記録等を提出していただきます。)活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセスを評価します。

なお、活動報告書の提出は任意であり、採点対象は2次選考対象者のみとします。(活動報告書の提出がない場合、2次選考における書類審査での加点は行いません。)

活動例を以下に示します。

- ・「各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組」  
（例）地域課題発見、フィールドスタディ、教科・科目学習における努力等
- ・「部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等」  
（例）取り組み内容、大会の結果、役職履歴等
- ・「表彰・顕彰等の記録」  
（例）皆勤賞、感謝状、特待生等
- ・「取得資格・検定等」  
（例）英語民間試験、高等学校で学んだ専門分野に係る資格（簿記検定、数学検定）等
- ・「その他」  
アドミッション・ポリシーの観点から評価できるものであれば、活動内容は問いません。

P55「地域政策学部各コース共通」へ続く

## 地域づくりコース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、まず募集人員のうち10名程度を大学入学共通テストの成績により合否決定します。  
(1次選考)次に残りの合格者として想定する者の2倍程度を対象として、書類審査を加味した総合点により合否決定をします。(2次選考) ※詳細はP55を参照すること。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験(面接)の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験(面接)のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

### (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考	
前期日程	国語	から 2科目	・100点満点に換算	
	地理歴史から1科目 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」)		4教科 4科目 (注1)	・3科目以上受験した場合は、 高得点の2科目を合否判定に利用(注2)
	公民から1科目(「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)			
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)			
	理科から1科目又は2科目 (「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、 「生物基礎」から2科目)			
外国語(「英語」)		・100点満点に換算		
後期日程	国語	から 1科目	・100点満点に換算	
	地理歴史・公民から1科目(「世界史A」、 「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)		3教科 3科目 (注1)	・2科目以上受験した場合は、 最高得点の1科目を合否判定に利用(注2)
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)			
	理科から1科目又は2科目(「物理」、「化学」、 「地学」、「生物」から1科目、又は「物理基礎」、 「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」から 2科目)			
外国語(「英語」)		・100点満点に換算		

(注1) 理科における「基礎」を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」)については、当該科目の2科目の受験で、1科目とみなします。

(注2) 各受験生の令和6年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の2科目、後期日程においては最高得点の1科目を本学が選択します。

なお、地理歴史及び公民並びに理科のうち理科②の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、下記の扱いのとおりとします。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	○地理歴史から1科目及び公民から1科目の2科目を受験している場合、当該科目については第1、2解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。 ○上記以外 第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。(第2解答科目は選択対象としません。)
	<理 科②>	第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。(第2解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科②>	第1解答科目のみを最高得点の1科目の選択対象とします。(第2解答科目は選択対象としません。)

## (2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	2次選考対象者のみ書類審査(調査書及び活動報告書)により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
後期日程	面接試験により、地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書を活用します。

## (3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

選抜区分	大学入学共通テスト						個別試験	合計	
	試験区分 教科等	国語	地理 歴史	公民	数学	理科			外国語 ※
前期日程 (1次選考)		100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	-	400点
		配点 400点							
前期日程 (2次選考)		100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	書類審査	420点
		配点 400点						配点 20点	
後期日程		100	[100]	[100]	[100]	[100]	100	面接	500点
		配点 300点						配点 200点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から2科目、[ ] は、1科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を100点満点に換算した点を用います。

## (4) 書類審査について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、高等学校が作成する書類(調査書)と、志願者本人が作成する書類(活動報告書)の両方によりアドミッション・ポリシーの観点から評価します。(調査書が存在しない者については、それに替わる証明書や記録等を提出していただきます。)活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセスを評価します。

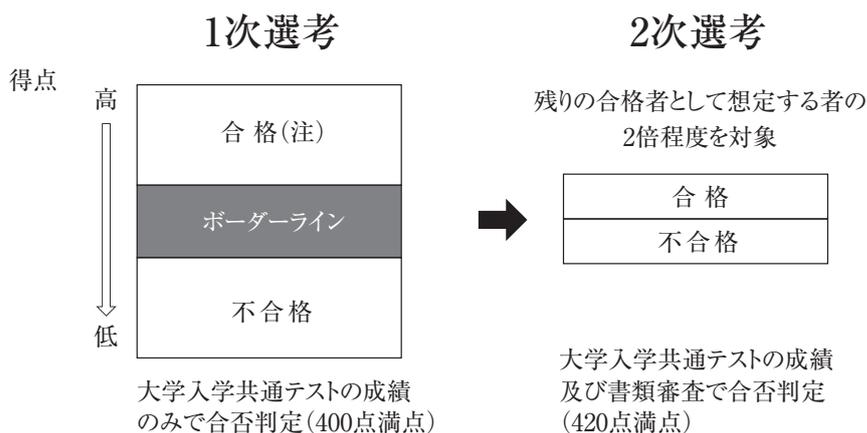
なお、活動報告書の提出は任意であり、採点対象は2次選考対象者のみとします。(活動報告書の提出がない場合、2次選考における書類審査での加点は行いません。)

活動例を以下に示します。

- ・「各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組」  
(例) 地域課題発見、フィールドスタディ、教科・科目学習における努力等
- ・「部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等」  
(例) 取り組み内容、大会の結果、役職履歴等
- ・「表彰・顕彰等の記録」  
(例) 皆勤賞、感謝状、特待生等
- ・「取得資格・検定等」  
(例) 英語民間試験、高等学校で学んだ専門分野に係る資格(簿記検定、数学検定)等
- ・「その他」  
アドミッション・ポリシーの観点から評価できるものであれば、活動内容は問いません。

### 地域政策学部・地域政策学科 各コース共通

#### 「1次選考」「2次選考」について



(注)1次選考合格者数

地域経済経営コース 15名程度

地域公共コース 20名程度

地域づくりコース 10名程度

#### 仮に地域経済経営コースにおける最終合格者を計20名と想定する場合

例1. 大学入学共通テストの成績が8位だった者

→大学入学共通テストの成績のみで合格決定(1次選考)

例2. 大学入学共通テストの成績が17位だった者

→残りの合格者として想定する者(20名-15名=5名)の2倍程度(=10名)である、16位~25位の者を2次選考対象として大学入学共通テストの成績及び書類審査で合格を判定

例3. 大学入学共通テストの成績が30位だった者

→大学入学共通テストの成績のみで不合格(1次選考)

#### 4. 出願期間

令和6年1月22日（月）から令和6年2月2日（金）まで  
郵送する場合は、2月2日（金）までの消印有効とします。

#### 5. 個別試験期日

前期日程：実施しない

後期日程：令和6年3月12日（火）又は令和6年3月13日（水）のいずれか1日

#### 6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

#### 7. 合格発表

前期日程：令和6年3月5日（火）

後期日程：令和6年3月20日（水・祝）

#### 8. 入学手続期間

前期日程：令和6年3月6日（水）から令和6年3月14日（木）まで（締切日必着）

後期日程：令和6年3月21日（木）から令和6年3月27日（水）まで（締切日必着）

#### 9. 追加合格及び2次募集

募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格及び2次募集を行うことがあります。

## 2 学校推薦型選抜（一般推薦）

### 1. 募集人員

地域経済経営コース	10名
地域公共コース	10名

### 2. 出願資格

学校推薦型選抜（一般推薦）は、本学が島根県の公立大学として、島根県出身者に高等教育の機会を確保するという役割を果たすために実施するものです。出願資格は、島根県内の高等学校等出身者とし、次の各号をすべて満たす者としします。

- (1) 島根県内の高等学校及び特別支援学校高等部を令和6年3月卒業見込みの者、島根県内において通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和6年3月修了見込みの者
- (2) 人物・学業成績とも優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (4) 調査書において「全体の学習成績の状況」が、地域経済経営コースにあっては3.8以上、地域公共コースにあっては3.5以上の者

なお、1校あたりの推薦枠数は各コース1名までとします。この場合、本校、分校はそれぞれ1校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ1校として扱います。

### 3. 選抜の方法

#### 地域経済経営コース

#### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、総合問題及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、総合問題及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

#### (2) 個別試験の実施内容・評価

総合問題	課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める問題により、地域経済経営コースで学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを評価します。
個別面接	地域経済経営コースにおいて、主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。

#### (3) 試験の配点

試験内容		合計
総合問題	個別面接	
配点 200点	配点 200点	400点

P58「4. 出願期間」へ続く

## 地域公共コース

### (1) 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、大学入学共通テスト及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

### (2) 個別試験の実施内容・評価

個別面接	地域公共コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。
------	---

### (3) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考
国語		・100点満点に換算
地理歴史・公民から1科目 〔「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」〕	から 1科目	2教科 2科目 (注1)
数学から1科目 〔「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」〕		
理科から1科目又は2科目 〔「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生 物基礎」から2科目〕		
外国語〔「英語」〕		
		・2科目以上受験した場合は、 最高得点の1科目を合否判定に利用(注2)
		・外国語〔「英語」〕は100点 満点に換算

(注1) 理科における「基礎」を付した科目〔「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」〕については、当該科目の2科目の受験で、1科目とみなします。

(注2) 各受験生の令和6年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、最高得点の1科目を本学が選択します。

なお、地理歴史・公民並びに理科のうち理科②の試験時間において2科目を受験した場合は、第1解答科目のみを最高得点の1科目として選択対象とします。(第2解答科目は選択対象としません。)

### (4) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

大学入学共通テスト					個別試験	合計
国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語 ※	個別面接	
100	[100]	[100]	[100]	[100]		
配点 200点					配点 200点	400点

(注) 表中の [ ] は、同種類の括弧の中から1科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を100点満点に換算した点を用います。

## 4. 出願期間

令和5年11月1日(水)から令和5年11月6日(月)まで(締切日当日消印有効)

## 5. 試験期日

総合問題（地域経済経営コースのみ）令和5年11月18日（土）

個別面接 令和5年11月18日（土）又は令和5年11月19日（日）のいずれか1日

## 6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

## 7. 合格発表

（1）地域経済経営コース

令和5年12月4日（月）

（2）地域公共コース

令和6年2月8日（木）

## 8. 入学手続期間

（1）地域経済経営コース

令和5年12月7日（水）から令和5年12月11日（月）まで（締切日必着）

（2）地域公共コース

令和6年2月9日（金）から令和6年2月15日（木）まで（締切日必着）

## 9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。（地域経済経営コースのみ）

# 3 学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）

## 1. 募集人員

地域づくりコース 20名

## 2. 出願資格

学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）は、本学が島根県の公立大学として、島根県出身者に高等教育の機会を確保するという役割を果たすために実施するものです。出願資格は、島根県内の高等学校等出身者とし、次の各号をすべて満たす者とします。

- （1）島根県内の高等学校及び特別支援学校高等部を令和6年3月卒業見込みの者、島根県内において通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和6年3月修了見込みの者
- （2）人物・学業成績とも優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者
- （3）高校生活の中で、在籍する高等学校等からの支援を受けながら、地域づくりに関わる取り組みを行ってきた者、もしくは現在行っている者
- （4）合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- （5）調査書において「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者

なお、1校あたりの推薦枠数は2名までとします。この場合、本校、分校はそれぞれ1校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ1校として扱います。

### 3. 選抜の方法

#### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、プレゼンテーション及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。参考資料として活動報告書を活用します。

#### (2) 個別試験の実施内容・評価

プレゼンテーション 個別面接	地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として活動報告書を活用します。
-------------------	--

#### (3) 試験の配点

試験内容		合計
プレゼンテーション	個別面接	
配点 100点	配点 100点	200点

### 4. 出願期間

令和5年11月1日（水）から令和5年11月6日（月）まで（締切日当日消印有効）

### 5. 試験期日

令和5年11月18日（土）又は令和5年11月19日（日）のいずれか1日

### 6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

### 7. 合格発表

令和5年12月4日（月）

### 8. 入学手続期間

令和5年12月5日（火）から令和5年12月11日（月）まで（締切日必着）

### 9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。

## 4 総合型選抜（自己推薦）

### 1. 募集人員

地域経済経営コース	10名
地域づくりコース	10名

### 2. 出願資格

次の各号をすべて満たす者とします。

- (1) 令和4年3月から令和6年3月までに高等学校、中等教育学校の後期課程を卒業した者及び卒業見込みの者、同期間に通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を令和6年3月修了見込みの者
- (2) 合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 調査書において「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者
- (4) 【地域づくりコースのみ】高等学校在学中に、主体的にリーダーシップを持った活動を行ったことがある者。具体的には、高等学校在学中に、生徒会活動や部活動などの学校内の諸活動、または、NPOや高校生起業家などの学外活動において、リーダー又は副リーダーとして継続的に集団をまとめ、活動を牽引した経験がある者。ただし既卒者については、高等学校卒業後の活動も可とします。

### 3. 選抜の方法

#### 地域経済経営コース

##### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、総合問題及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、総合問題及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

##### (2) 個別試験の実施内容・評価

総合問題	課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める問題により、地域経済経営コースで学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを評価します。
個別面接	地域経済経営コースにおいて、主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。

##### (3) 試験の配点

試験内容		合計
総合問題	個別面接	
配点 200点	配点 200点	400点

「4. 出願期間」へ続く

## 地域づくりコース

### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文、プレゼンテーション及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、小論文、プレゼンテーション及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、それぞれ総合点での順位に関わらず可否を判定することがあります。

### (2) 試験の実施内容・評価

小論文	基礎学力を評価します。
プレゼンテーション 個別面接	地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として活動報告書を活用します。

### (3) 試験の配点

試験内容			合計
小論文	プレゼンテーション	個別面接	
配点 100点	配点 100点	配点 100点	300点

## 4. 出願期間

令和5年9月25日（月）から令和5年9月28日（木）まで（締切日当日消印有効）

## 5. 試験期日

総合問題・小論文 令和5年10月14日（土）

個別面接 令和5年10月14日（土）又は令和5年10月15日（日）のいずれか1日

## 6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

## 7. 合格発表

令和5年11月1日（水）

## 8. 入学手続期間

令和5年11月2日（木）から令和5年11月8日（水）まで（締切日必着）

## 9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。

## 【国際関係学部・地域政策学部】 共通事項

島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する  
特別選抜における「選抜の基本方針」

### 選抜の基本方針

#### ■社会人特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

#### ■帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

#### ■私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文及び面接の評価を総合して行います。日本留学試験では、基礎的な日本語能力及び基礎学力を評価します。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

### 各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する   ○：重視する】

#### ①社会人特別選抜、帰国生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

#### ②私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
日本留学試験	◎		
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

# 1 社会人特別選抜

## 1. 募集人員

各コース 若干名

## 2. 出願資格

令和6年3月31日までに社会人としての経験を5年以上有する者で、23歳以上に達するものであって、次の各号のいずれかに該当する者とします。この場合、定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人の経験期間に含めません。

- (1) 高等学校、中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定による出願については、事前に入学資格の審査を行います。

令和5年9月29日（金）（必着）までに、入学資格認定申請書を提出してください。

## 3. 選抜方法

### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文試験、個別面接により総合的に評価し、合否を決定します。

なお、小論文試験及び個別面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

### (2) 試験の実施内容及び配点

試験の内容	着 眼 点	配点	合計
小論文	国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。	100点	200点
個別面接	当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぶとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。	100点	

4. 出願期間 令和5年11月1日（水）から令和5年11月6日（月）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日 令和5年11月18日（土）

6. 試験会場 鳥根県立大学浜田キャンパス（鳥根県浜田市野原町2433-2）

7. 合格発表 令和5年12月4日（月）

8. 入学手続期間 令和5年12月5日（火）から令和5年12月11日（月）まで（締切日必着）

## 2 帰国生特別選抜

### 1. 募集人員

各コース 若干名

### 2. 出願資格

日本国籍を有する者、日本国の永住許可を得ている者、またはその他これらに準ずる者で、保護者の海外勤務等によりやむを得ず外国の学校教育を受けているものであって、かつ、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和4年4月1日から令和6年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者
  - (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校等の第3学年に編入学を認められた者で、令和6年3月卒業（修了）見込みの者
  - (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を令和4年又は令和5年に授与された者
  - (4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格の取得者に授与される一般的大学入学資格証明書を令和4年又は令和5年に授与された者
  - (5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格の取得者に授与されるバカロレア資格証書を令和4年又は令和5年に授与された者
  - (6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を取得した者
- (注) (1) 及び (2) において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した場合、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

### 3. 選抜方法

#### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文試験、個別面接により総合的に評価し、合否を決定します。

なお、小論文試験及び個別面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

#### (2) 試験の実施内容及び配点

試験の内容	着 眼 点	配 点	合 計
小論文	国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。	100点	200点
個別面接	当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。	100点	

#### 4. 出願期間

令和5年11月1日（水）から令和5年11月6日（月）まで（締切日当日消印有効）

#### 5. 試験期日

令和5年11月18日（土）

#### 6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

#### 7. 合格発表

令和5年12月4日（月）

#### 8. 入学手続期間

令和5年12月5日（火）から令和5年12月11日（月）まで（締切日必着）

## 3 私費外国人留学生特別選抜

#### 1. 募集人員

各コース 若干名

#### 2. 出願資格

日本国籍を有しない者であって、次の各号のすべてに該当する者とします。

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2023年日本留学試験」の第1回(6月実施分)において、次の指定科目を受験した者、または、第2回(11月実施分)に出願し、次の指定科目を受験する者

<出題言語> 日本語とする。

<受験指定科目> ア 日本語（記述を含む）  
イ 総合科目  
ウ 数学（「コース1」とする。）

- (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、又は本学入学により有することとなる者

- (3) 次のいずれかに該当する者

- ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ②外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者
- ③ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格の取得者に授与される一般的大学入学資格証明書を授与された者
- ④フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格の取得者に授与されるバカロレア資格証書を授与された者

- ⑤グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を取得した者

### 3. 選抜方法

#### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、日本留学試験、小論文試験、個別面接により総合的に評価し、合否を決定します。

なお、日本留学試験、小論文試験及び個別面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

#### (2) 試験の実施内容及び配点

試験の内容	指定科目又は着眼点	配点	合計
日本留学試験	日本語	50点	300点
	総合科目	30点	
	数学(コース1とする。)	20点	
小論文	国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。	100点	
個別面接	当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。	100点	

#### 4. 出願手続

令和5年11月1日（水）から令和5年11月6日（月）まで（締切日当日消印有効）

#### 5. 試験期日

令和5年11月18日（土）

#### 6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

#### 7. 合格発表

令和6年1月25日（木）

#### 8. 入学手続期間

令和6年1月26日（金）から令和6年3月8日（金）まで（締切日必着）

## 障がい等のある入試志願者の事前相談

身体に障がいがあり、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願前にあらかじめ本学学務課アドミッション室と協議してください。

### ア) 協議の方法

本学が指定する協議書に、医師の診断書または身体障害者手帳の写しを添付して提出してください。

### イ) 協議書の提出期限（締切日必着）

総合型選抜	令和5年 9月15日（金）
学校推薦型選抜	令和5年 10月20日（金）
一般選抜	令和6年 1月19日（金）

ウ) 必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身高等学校等関係者との面談等を行います。

<連絡先・協議先>

〒697-0016

鳥根県浜田市野原町 2433-2

鳥根県立大学浜田キャンパス 学務課アドミッション室

(TEL) 0855-24-2203

## 試験日に関わる注意事項

地震や台風等の不測の事態が発生し、試験の実施が困難であると本学が判断した場合は、試験日を以下の日程に延期します。延期する場合は、本学公式ホームページで告知しますので、適宜確認するようにしてください。延期日に受験しなかった場合は欠席とみなし、入学検定料は返還しません。

### 1. 試験期日

総合型選抜	令和5年10月28日(土)・10月29日(日)
学校推薦型選抜	令和5年11月25日(土)・11月26日(日)
特別選抜	令和5年11月25日(土)

### 2. 合格発表

総合型選抜	令和5年11月13日(月)
学校推薦型選抜(地域公共コースを除く)	令和5年12月11日(月)
学校推薦型選抜(地域公共コース)	変更なし
特別選抜(社会人・帰国生)	令和5年12月11日(月)
特別選抜(私費外国人留学生)	変更なし

### 3. 入学手続期間

総合型選抜	令和5年11月14日(火)から令和5年11月20日(月)まで(締切日必着)
学校推薦型選抜(地域公共コースを除く)及び特別選抜(社会人・帰国生)	令和5年12月12日(火)から令和5年12月18日(月)まで(締切日必着)

## お詫びと訂正

島根県立大学

2023年7月

令和6年度入学者選抜要項の『入試日程』につきまして、以下のとおり誤りがございました。謹んでお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。

巻末ページ(P121)『入試日程』表中

<誤>

学校推薦型選抜(一般推薦) 地域政策学部 地域政策学科 地域公共コース

【合格発表日】令和6年2月6日(火)

【入学手続期間】令和6年2月7日(水)～13日(火)

<正>

学校推薦型選抜(一般推薦) 地域政策学部 地域政策学科 地域公共コース

【合格発表日】令和6年2月8日(木)

【入学手続期間】令和6年2月9日(金)～15日(木)

# 入試日程

選抜区分	学部	コース	令和5年						令和6年								
			9月	10月	11月		12月		1月	2月		3月					
総合型選抜	国際関係	国際関係 国際コミュニケーション	出願期間 25日(月) 28日(木)	試験日 14日(土) 15日(日)	合格発表 1日(水)	入学手続期間 2日(木) 8日(水)											
		地域政策 地域経済経営 地域づくり	出願期間 25日(月) 28日(木)	試験日 14日(土) 15日(日)	合格発表 1日(水)	入学手続期間 2日(木) 8日(水)											
	看護栄養	出願期間 13日(水) 20日(水)	試験日 <1次試験> 7日(土) <2次試験> 21日(土) 22日(日)	合格発表 1日(水)	入学手続期間 6日(月) 10日(金)												
	人間文化			出願期間 8日(水) 14日(火)		試験日 2日(土) 3日(日)	合格発表 15日(金)	入学手続期間 18日(月) 22日(金)									
	短期大学			出願期間 1日(水) 6日(月)	試験日 18日(土) 19日(日)	合格発表 1日(金)	入学手続期間 4日(月) 8日(金)										
学校推薦型選抜(一般推薦/しまね高大連携推薦)	国際関係	国際関係			出願期間 1日(水) 6日(月)	試験日 18日(土) 19日(日)	合格発表 4日(月)	入学手続期間 5日(火) 11日(月)									
		地域政策 地域経済経営 地域づくり			出願期間 1日(水) 6日(月)	試験日 18日(土) 19日(日)	合格発表 4日(月)	入学手続期間 5日(火) 11日(月)									
	地域公共			出願期間 1日(水) 6日(月)	試験日 18日(土) 19日(日)			合格発表 6日(火)	入学手続期間 7日(水) 13日(火)								
	看護栄養	連携活動① 13日(金) 23日(月)	出願期間 1日(水) 8日(水)	連携活動② 11日(土)	試験日 25日(土) 26日(日)	合格発表 1日(金)	入学手続期間 4日(月) 8日(金)		連携活動③ 10日(土)								
	人間文化			出願期間 8日(水) 14日(火)		試験日 2日(土) 3日(日)	合格発表 15日(金)	入学手続期間 18日(月) 22日(金)									
	短期大学			出願期間 1日(水) 6日(月)	試験日 18日(土) 19日(日)	合格発表 1日(金)	入学手続期間 4日(月) 8日(金)										
一般選抜	前期日程	国際関係							出願期間 1月22日(月) 2月2日(金)	試験日 25日(日)	合格発表 5日(火)	入学手続期間 6日(水) 14日(木)					
		地域政策							出願期間 1月22日(月) 2月2日(金)		合格発表 5日(火)	入学手続期間 6日(水) 14日(木)					
		看護栄養							出願期間 1月22日(月) 2月2日(金)	試験日 25日(日) 26日(月)	合格発表 1日(金)	入学手続期間 4日(月) 8日(金)					
	後期日程	人間文化							出願期間 1月22日(月) 2月2日(金)	試験日 25日(日) 26日(月)	合格発表 5日(火)	入学手続期間 6日(水) 12日(火)					
		短期大学							出願期間 15日(月) 22日(月)	試験日 3日(土) 4日(日)	合格発表 16日(金)	入学手続期間 19日(月) 26日(月)					
		国際関係							出願期間 1月22日(月) 2月2日(金)		試験日 12日(火) 13日(水)	合格発表 20日(水) 27日(水)	入学手続期間 21日(木) 27日(木)				
地域政策							出願期間 1月22日(月) 2月2日(金)		試験日 12日(火) 13日(水)	合格発表 20日(水) 27日(水)	入学手続期間 21日(木) 27日(木)						

## 募集人員一覧（別科助産学専攻を除く）

学部	学科	コース	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜			総合型選抜 (共テ課さない)	特別選抜		
				前期日程 (短大部は 独自日程)	後期日程	一般推薦 (共テ課す)	一般推薦 (共テ課さない)	しまね 高大連携 推薦等 (共テ課さない)		社会人 (・学士)	帰国生	私費 外国人 留学生
国際関係	国際関係	国際関係	45	25	5		5		10	若干名	若干名	若干名
		国際コミュニケーション	45	25	5				15	若干名	若干名	若干名
	小計	90	50	10		5		25	-			
地域政策	地域政策	地域経済経営	45	20	5		10		10	若干名	若干名	若干名
		地域公共	45	25	10	10				若干名	若干名	若干名
		地域づくり	50	15	5			20	10	若干名	若干名	若干名
	小計	140	60	20	10	10	20	20	-			
看護栄養	看護	-	80	45			15	12	8	3名以内	1名以内	1名以内
	健康栄養	-	40	17			16	4	3	1名以内	1名以内	1名以内
	小計		120	62			31	16	11	-		
人間文化	保育教育	-	40	28			12			1名以内	1名以内	1名以内
	地域文化	-	70	45			15		10	1名以内	1名以内	1名以内
	小計		110	73			27		10	-		
短期大学	保育	-	40	15			18		7	1名以内	1名以内	1名以内
	文化情報	-	40	10			20		10	若干名	若干名	1名以内
	小計		80	25			38		17	-		
合計			540	270	30	10	111	36	83	-		



公立大学法人 島根県立大学  
マスコットキャラクター  
オロリン

**国際関係学部** 国際関係学科(4年制)

**地域政策学部** 地域政策学科(4年制)

**総合政策学部** 総合政策学科(4年制)

※令和3年4月学生募集停止

**大学院北東アジア開発研究科**

(博士前期2年制・博士後期3年制)

**浜田キャンパス**

島根県浜田市野原町2433-2 TEL:0855-24-2203

**看護栄養学部**

看護学科(4年制) 健康栄養学科(4年制)

**別科助産学専攻**(1年制)

**大学院看護学研究科**

(博士前期2年制・博士後期3年制)

**出雲キャンパス**

島根県出雲市西林木町151 TEL:0853-20-0215

**人間文化学部**

保育教育学科(4年制) 地域文化学科(4年制)

**短期大学部**

保育学科(2年制) 文化情報学科(2年制)

**松江キャンパス**

島根県松江市浜乃木7-24-2 TEL:0852-20-0236

<https://www.u-shimane.ac.jp/>

島根県立大学



出願は、インターネットで！

いつでもどこでも出願！PCでもスマホでも出来ます！

※詳細は、入学者選抜要項や各学部・学科のホームページへ掲載する学生募集要項でご確認ください。

※特別選抜(社会人・学士、帰国生、私費外国人留学生)及び編入学試験は、インターネット出願を導入していませんので、各学部・学科へ願書をご請求ください。

公立大学法人 島根県立大学  
「インターネット出願サイト」

<https://e-apply.jp/ds/pu-shimane/>

